

シラバス 自動車整備 科 一級自動車整備士 コース

講 義 名	＜学科＞ 二年次前期 ガソリンエンジン整備法1				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担 当 者	風間 功要	単位数	10 時限	区分	学科
実務経験					
講義対象	二年生	時 期	4月～9月中旬		
使用教材	二級ガソリン、三級ガソリン、二級二輪、単体教材				
到達目標	国家試験レベルの理解				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。				
授業計画					
1 時限	バルブタイミング復習問題1				
2 時限	バルブタイミング復習問題答え合わせ (P7～11)第 1 章総論				
3 時限	(P11～14)第 1 章総論 熱効率、平均有効圧力、体積効率、充てん効率、諸損失、グロス値とネット値				
4 時限	(P14～22)第 1 章総論 第 2 章エンジン本体 ノッキング、有害ガス 3 種、シリンダヘッドとシリンダヘッドガスケット				
5 時限	(P22～27)第 2 章エンジン本体 シリンダブロック、ピストン、ピストンリング、コンロッド、ベアリング類				
6 時限	(P27～32)第 2 章エンジン本体 クランクシャフト、トーショナルダンパ、バランサ機構、バルブ、バルブスプリング				
7 時限	(P32～50)第 2 章エンジン本体第 3 章潤滑装置、第 4 章冷却装置 バルブクリアランス自動調整機構、可変バルブタイミング、可変バルブリフト、潤滑装置、冷却装置等				
8 時限	(P7～50)期末試験対策				
伝達事項等					
校長	所 属				授業資格
	学科長	担当者			学科実習
					あり
					実務経験
					なし

シラバス 自動車整備 科 一級自動車整備士 コース

講 義 名	<学科> 二年次前期 ガソリンエンジン整備法1				
概要と目的					
担 当 者		単位数		区分	
講義対象		時 期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
9 時限	(P7～50) 期末試験対策				
10 時限	期末試験				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			

講義名	＜学科＞ 二年次前期 ガソリンエンジン整備法2				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担当者	舟坂 義幸	単位数	10 時限	区分	学科
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員がガソリンエンジン整備法2について教育を行う科目。				
講義対象	二年生	時 期	4月～9月中旬		
使用教材	二級ガソリンエンジン、三級ガソリンエンジン、プリント				
到達目標	国家試験レベルの燃料装置の理解				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。				
授業計画					
1	第8章電子制御装置導入(一年次の復習と二年次の予定について) 一年次復習プリント解説				
2	アクセルポジションセンサと電子制御スロットル装置(2G P109、134～135) その他の信号検出(2G P114～117)				
3	インジェクタの駆動回路、噴射方式(2G P117～119)				
4	噴射時間、電圧補正時間(2G P122) 始動時噴射、通常時噴射(2G P119～120)				
5	各種補正(2G P120～121) フューエルカット(2G P122～123)				
6	アイドル回転速度制御装置、ECUによる制御(2G P123～128) 点火時期制御(2G P129～130)				
7	過電流保護回路(2G P131) 通電時間制御(2G P133～134) フューエルポンプ(2G P52) プレッシュャレギュレータ(3G P71)				
8	フェイルセーフ(教科書外) LPG燃料装置(2G P53～55) 練習問題(プリント実施)				
伝達事項等					
校長	所 属		授業資格		実務経験
	学科長	担当者	学科実習 あり		あり

シラバス 自動車整備 科 一級自動車整備士 コース

講 義 名	<学科> 二年次前期 ガソリンエンジン整備法2				
概要と目的					
担 当 者		単位数		区分	
講義対象		時 期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
9	練習問題(プリント解答解説)				
10	期末試験				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			